

新成人の主張

Kazuki Watanabe

Daiki Miyajima

さまざまなことに全力で取り組み、
地域医療に貢献できる歯科医師になり、
町民の健康をサポートしていきたい。

渡邊 一貴さん(徳山区)

大

学1年生の時には、歯科に関する専門的な学問ではなく、語学やコミュニケーション学などの基礎科目を中心に勉強しました。そこで学んだことは、歯科医師になるためには歯科分野の学習だけでは足りないということです。グローバル化が進んでいる現代において、自分の歯科医院の患者さんが日本人だけとは限りません。よって、さまざまな国の語学を学ぶことで、どの国の患者さんにも気持ちよく治療を受けてもらうことができると思います。また、患者さんの症状を的確に理解し、自分の診療計画を正確に伝えなければなりません。その時にコミュニケーション能力は必要なスキルであると考えます。

大

学2年生になってからは、歯科の専門的な分野を学び

始めました。そこで、私の歯科医師の役割に関する考えが大きく変わりました。歯科医師の仕事は、虫歯や歯周病などの口腔疾患を治療するだけではないということです。歯の疾患の影響は、口腔だけでなく全身に関与する可能性があります。例えば、現在の日本人の死亡原因第3位である肺炎においては、口腔内環境の清潔さが大きく関係します。また、口腔疾患が、糖尿病や心臓病に深く関わっているという研究結果も存在します。そこで私は、医師と連携して、管理者として患者さんの全身ケアにも目を向ける歯科医師を目指したいです。具体的には、歯科医院に通えない高齢の方や障がいを持つ方に対しての訪問診療を、積極的に行うことが必要であると思います。また、終末期医療において、最期の時までおいしく食べ物を食べてもらうように口腔ケアをすることも大切であると感じます。

私は、大学入学までの18年間、この川根本町の皆さんに支えられ、ここまで成長することができました。今度は、私が歯科医師として医療の面から川根本町の皆さんの健康をサポートしていきたいと思っています。そのた

めに日々の大学生活では全力で勉強に取り組むことはもちろんですが、将来、医療従事者になるという意識を常に持ち、自分の行動に責任を持つことにも心掛けていきたいです。そして、日々の生活において、人間として大きく成長するためにさまざまな事柄に全力で取り組み、将来立派な歯科医師になってこの川根本町に帰ってきたいと思っています。

本 日、このような盛大な式を挙行していただいたことに感謝し、新成人代表の言葉とさせていただきます。

◀成人式の会場内で新成人の歯科検診を行った父・克也さんと。(歯科検診の関連記事：20ページ)



まずは野球で「全国大会1勝」、
そして教員として、町の子どもたちが
「根っこ」を張るための手伝いをしたい。

宮島 大樹さん(崎平区)

「夢」 はでっかく、根は深く」。詩人である相田みつをさんの言葉です。「大きな夢を持ちたいのなら、根を深く張らなければならぬ。根っこが深くなればなるほど大きな夢を持つことができる」。私は5年前の中学校3年生の時、この同じ成人式場で新成人の方々に対し、この言葉をメッセージとして贈り、その後「自分もこの言葉のように」と心に誓い、メッセージが書かれたタオルを自宅の部屋に掲げてきました。

そ して、自分自身が成人を迎える今、私は静岡大学の教育学部に在籍しながら、二つの大きな夢に向かって精進しています。

ま ず、一つ目の夢は「全国大会一勝」です。私は大学の硬式野球部に所属し、全国から集まった80人の仲間とともにこの目標を掲げ、投手として日々練習に励んでいます。向上心の高い先輩方に学び、同級生や後輩たちと切磋琢磨することで、その成果が徐々に結果となって現れ始めています。昨年のリーグ戦では、リリーフとして公式戦デビューを果たし、また秋の新人戦では、県大会優勝、そして東海大会のタイトルを懸けた戦いで勝利に貢献する投球をしたことができました。しかし、夢の「全国一勝」を達成するためにはまだまだ課題が多く、チームとして

も個人としてもレベルアップが求められています。大きな夢を実現させるために、目の前の小さな積み重ねを大切にしながら、今まで以上に努力をしていきたいと考えています。

―― 目の夢は、教員になることです。大学の授業は新しい発見があつてとても楽しく、講義や演習に積極的に参加することでスキルアップを図っています。川根本町での学校生活の中で、私は常にポジティブに課題と向き合うことを学んできました。その経験を生かしながら、特に「新しい学びを創造する環境づくり」というテーマを掲げ、これから始まる教育実習やゼミでの研究でさらに学びを深め、自分が理想とする教員に近づけるように力を注いでいきたいと思っています。

さ て、大きな夢をかなえるための私の「根っこ」は、間違いなく生まれ育ったこの町にあります。さゆり幼稚園、本川根小学校、本川根中学校、そして川根高等学校。18年間の貴重な体験の中でキャリアを積み、さまざまなことを学び、鍛えられ、夢に向かって頑張る力を育てていただきました。「諦めずにしっかり前を向いて歩むこと」、「二人一人に良さがあり、それぞれ輝いてこそ価値があること」など、たくさんの方を教えています。

ただきました。今、私がこうして有意義な大学生活を送ることができているのは、この町の自然豊かな環境、地域の方々、お世話になった先生方、仲間、そして家族の支えがあったからだと確信しています。

私 はこの町が大好きです。そして何らかの形で恩返しをしたいと考えています。私は、まずは「全国大会一勝」の夢をかなえて、母校や町に活気をもたらすこと、そして卒業後は教員として町に戻り、子どもたちが大きな夢を育てるための土台となる「根っこ」をしっかりとするためのお手伝いをするなどで、川根本町のサポートをしたいと考えています。

こ れからもこの町で生まれ育ったことを誇りに思い、夢に向かって努力することを誓い、新成人代表の言葉とさせていただきます。

